

要求実現の力をもつ
労働組合をめざし
全国で組織建設と
拡大をすすめよう!



発行所
JMITU
(日本金属製造情報通信労働組合)
〒114-0023 東京都北区滝野川
3-3-1 ユニオンコーポ3階
電話 (03) 5961-5601~2
FAX (03) 5961-5603
※組織外、無断転載禁止

時短、人員増など「本物の働き方」へ

78支部分会が17秋闘要求いっせい提出

回答確約交渉など産業別統一闘争を強化

JMITUは9月20日、いっせいに2017年秋闘要求を提出しました。今年の秋闘では、安倍政権がねらう長時間の時間外「合法化」、残業代ゼロ、裁量労働拡大など、「働き方『改悪』」を許さず、職場にもち込ませないための「本物の働き方改革」を求める統一要求書をはじめ、「合意協力型労使関係」「安全衛生」の3つの統一要求書にとりくみます。

22日現在、全国で78支部分会が要求を提出(1部未集約)。3つの統一要求書がほぼすべてのところで提出されたのをはじめ、定年延長・継続雇用賃金・処遇改善49支部分会、時間短縮39支部分会、人員増28支部分会、女性の要求9支部分会など、統一要求にもとづいた具体的な要求や、「せめてこれだけは」といった積極的な要求が提出されました。

JMITUでは、各経営者に対する秋闘要求の提出とともに、「働き方改悪」を許さないために、衆参の厚生労働委員会に向けた職場からの決議運動にとりくんでいます。

10月4日(水)の回答指定日に向け、週明けには各地で回答確約の交渉がおこなわれます。



9条改憲を許さない! 国会に1万人 (9月19日、記事2面)

規模におこなうこと」を要求。このほか、「4職場で人員増5人」(東京北部・鈴木シャッター支部)、「人員補充6人」(東京北部・東洋精機支部)、「枚方工場8人、淀川工場2人」(大阪・田辺鉄工所支部)など、職場と人数を具体的に要求しています。

時間短縮については、「36協定特別条項の撤廃」「1日20分短縮」「夏季(7~9月)昼休みを1・5時間、業務終了時間30分短縮」「全員にバースデー休暇」「契約社員にもリフレッシュ休暇」など、多様な要求が出ています。女性の要求では「女子トイレの改善、妊娠中の作業服改善、妊娠中の通院休暇5日間を有給に」(大阪・野村製作所支部)、「製造現場に女子トイレを」(茨城・ボッシュ・レックスロス支部)のほか、セクハラ・パワハラ防止の要求も出されています。また半数以上で継続雇用の賃金・処遇改善の要求が出されるなど、今年も統一闘争になっています

「女子トイレの改善」…

17秋闘 女性の要求も

17秋闘では、長時間労働の削減に向け、多くのところで人員増の要求が提出されました。4年連続で新入社員の全員を組合に迎えている東京東部の小坂研究所支部は、「過密労働の緩和、活気ある職場づくり、円滑な技術継承のために、人員増をおこなうとともに来年度の新卒者採用を大

勝利判決を喜ぶ (9月14日・東京地裁前)



日本IBMは争議全面解決を 第5次も勝利

9月14日、日本IBMのロックアウト解雇第5次訴訟の判決が東京地裁であり、原告・田中純組合員の解雇を無効とし、賃金などの支払いを求める勝利判決が言い渡されました。田中さんは2015年4月に解雇されました。日本IBMのロックアウト解雇事件では、組合員100人のうち35人が解雇され、うち11人が5次にわたり裁判に立ち上がりました。今回の判決で、判決を待たず和解した3次裁判をのぞくすべての訴訟で勝利判決。3次、4次の5人が和解し3人が職場復帰、2人が和解金によって解決しました。会社側は今回の判決を不服として22日に控訴しましたが、第1次・第2次を含め、争議の全面解決を決断すべきです。

「安倍9条改憲」にストップを！ 解散総選挙で安倍政権を退陣に追い込もう

安倍首相は自らを延命させ、「2020年までに憲法改正を施行」する体制づくりをねらい、加計・森友疑惑隠しの解散総選挙の暴挙に出てきました。報道では、10月10日告示、同22日投票が濃厚となっています。野党の臨時国会開会の要求を3カ月もたなざらししたうえ、所信表明も吹っ飛ばしての解散に、「まったく大義なし」「私利私欲」「疑惑隠し」「権力私物化」との批判がわきおこっています。

このところの北朝鮮問題で危機をあおりにあおり、内閣支持率が多少上向いているとはいえ、「首相を信用できない」とする世論は、そうたやすく払拭されるものではありません。今回の解散総選挙は、安倍政権に手厳しい審判を下し、暴走政権を退陣に追い込み、9条改憲にストップをかける選挙です。

9条改憲許さない 国会正門前に1万人

戦争法強行採決からまる2年の9月19日、国会正門前は1万500人の市民で埋まりました。集会では日本共産党志位委員長、民進党小川参議院議員、社民党福島副党首など野党の代表があいさつ。自由党小沢共同代表からメッセージが寄せられました。「9条改憲許さない」「野党と市民は共闘」とコールを上げました。

「JMITU」(メールニュース版)は、これまで毎月25日付で発行されてきましたが、本号より闘争時を含め、適時発行していきます。職場のたたかい、組織建設の経験・教訓も紹介していきます。